東日本大震災 被災者支援ボランティアセンターなごや お知らせ

名古屋って、あったかくて
いいまちだなぁ。

寄り添い、ゆっくりと、
でも全力で応援します。

平成３０年４月２５日発行　（第９４号）
本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、
毎月１日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています。

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558　名古屋市北区清水４-１７-１ ５階
名古屋市社会福祉協議会　ボランティアセンター内
電話: 070-5587-7153（平日 9～17 時）
FAX：052-917-0702
E メール　shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp

「**お知らせ**」今号から、愛知県の『情報定期便』として、愛知県被災者支援センターからお送りします。
引き続き、名古屋の皆さんへ情報をお送りします。よろしくお願いします。

名古屋にも「子ども食堂」が増えています

「**子ども食堂**」という言葉を聞いたことがありますか？ 最近テレビや新聞で見かけることも多いと思います。

「**子ども食堂**」とは、親子や、子ども1人でも安心して訪れることができる無料または安い参加費で食事が提供される居場所で、原則として、新たな参加者を拒まない。そんな場所だと言われています。2012年に東京の八百屋さんが、朝ご飯や晩ご飯を当たり前に食べられない子どもの存在、「見えない貧困」の存在がきっかけとなり作ったのが始まりと言われ、その後、瞬く間に全国に広がり、現在ではその数 2,000 を超えると言われています。

現在では、親子だけでなく、地域のどんな人でも参加してください！と広く声かけをしているところも多く、色々な世代の方が食事を楽しむ姿も多く見られます。また、お寺や教会、公民館などの公共施設、個人の自宅や休業日の飲食店など様々な場所で行われていますが、食事の提供ということだけでなく、地域の仲間同士で活動を行っていたり、お米や野菜などの食材を寄付してくれる人や団体、企業がいたり、運営資金の寄付があったり･･･という地域のつながりの中で運営されています。ご飯を食べに来た子どもさんが、エプロンを持ってお手伝いをする姿も見られるなど、居場所になっていると言えるかも知れません。

名古屋にも現在35以上の子ども食堂があります。４月には、子ども食堂と防災ボランティアさんとのコラボで「1日防災デー！」という企画があるなど、色々なチャレンジも始まっています。
地域とのつながりが作りたい方は、一度参加してみてはいかがでしょう？ ボランティアなどの協力者を募集しているところもあります！

詳しくは、お近くの区社会福祉協議会にお問い合わせください。

いずれも、被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。

「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時:平成30年5月15日･29日　6月5日･19日
全て火曜日 10時15分～12時

会場:**名古屋市総合福祉会館6階　録音編集室**
(北区清水四丁目 17-1 北区役所内)

持ち物:**はさみ**(よく切れるもの),あれば**ラジオペンチ**

材料費:1 回500円～(実費相当)

月2回に
パワーアップ！

寺子屋 NIT!

名工大の現役大学生による学習支援

日時:平成30年5月14日(月)･25日(金)
6月11日(月)･22日(金)
17時30分～(1時間半程度)　正門前集合

会場:**名古屋工業大学**
(昭和区御器所町、最寄り駅:鶴舞)

内容:学校の宿題やドリル、テスト範囲の勉強など
筆記用具は各自準備